

# 2020年度第3四半期決算の概要及び 2020年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2021年2月9日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 1. 2020年度第3四半期決算の概要

# 1) 2020年度第3四半期 事業概況及びトピックス

## ＜事業概況＞

- ◆ **モビリティ**：エラストマー、機能性コンパウンド、海外ポリプロピレン・コンパウンド及びソリューション事業は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けて、グローバルな自動車生産台数の落込みに伴い、販売が減少した。機能性ポリマーは、ICT関連需要に的確に対応し、販売は堅調に推移した。
- ◆ **ヘルスケア**：歯科材料及びビジョンケア材料は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売が堅調に推移した。
- ◆ **フード&パッケージング**：コーティング・機能材は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。機能性フィルム・シートは、産業用フィルム分野の販売が堅調に推移した。農薬は海外での販売が堅調に推移した。
- ◆ **基盤素材**：ナフサクラッカーの稼働は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響に起因する川下製品の需要減少の影響を受け低下した。ポリプロピレンは、主に自動車用途で需要の鈍化の影響を受けた。ビスフェノールA及びアセトンの海外市況は、前年を上回る水準で推移した。

## ＜第3四半期のトピックス＞

- ◆ **ヘルスケア**：・マスク用ノーズクランプ「テクノロート®」の増強（20年11月営業運転開始、+1ライン）  
・超撥水・反射防止コーティング材料メーカーのCOTEC®社の買収（20年10月発表）
- ◆ **基盤素材**：・大阪工場におけるガスタービン新設（20年12月営業運転開始、30MW）  
・市原工場における高純度プロピレン増強（20年12月営業運転開始）

## 2-1) 決算の概要

摘要	(単位: 億円)			
	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減	増減率
売上収益	10,053	8,574	△ 1,479	△15%
コア営業利益 (うち、持分法による投資損益)	599 44	522 9	△ 77 △ 35	△13% △80%
非経常項目	△ 47	△ 3	44	-
営業利益	552	519	△ 33	△6%
金融収益・費用	△ 13	△ 52	△ 39	-
税引前四半期利益	539	467	△ 72	△13%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	310	330	20	6%
為替レート(円/US\$)	109	106	△ 3	
国産ナフサ(円/KL)	42,300	28,800	△ 13,500	

## 2-2) 決算の概要

(単位：億円)

摘要	20年3月末	20年12月末	増減	増減率
有 利 子 負 債	5,994	5,903	△ 91	△2%
Net 有 利 子 負 債	4,277	3,788	△ 489	△11%
親会社の所有者に帰属する持分	5,292	5,647	355	7%
Net D ／ E レシオ（倍）	0.81	0.67	△ 0.14	-
親会社所有者帰属持分比率 (%)	34.6	36.9	2.3	-

(単位：社)

摘要	20年3月末	20年12月末	増減
連 結 対 象 会 社 数			
連 結 子 会 社	125	123	△ 2
共同支配事業 (JO*)	4	4	-
持 分 法 適 用 会 社	27	27	0
連 結 対 象 会 社 計	156	154	△ 2

\*ジョイント・オペレーション

### 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位 : 億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	2,776	2,208	△ 568	330	195	△ 135	△ 105	△ 18	△ 12
ヘルスケア	1,069	1,057	△ 12	95	148	53	△ 5	6	52
フード & パッケージング	1,449	1,393	△ 56	116	152	36	2	23	11
基盤素材	4,628	3,818	△ 810	112	53	△ 59	△ 51	46	△ 54
その他	131	98	△ 33	△ 54	△ 26	28	-	-	28
合計	10,053	8,574	△ 1,479	599	522	△ 77	△ 159	57	25
成長3領域*	5,294	4,658	△ 636	541	495	△ 46			

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

## 4) セグメント別 コア営業利益の内訳 (増減分析 対前年3Q)

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益			主要増減要因
	19年度 3Q	20年度 3Q	増減	
モビリティ	105	113	8	数量(-)、固定費(+)
ヘルスケア	36	76	40	数量(+)
フード & パッケージング	38	57	19	数量(+)、固定費(+)
基盤素材	43	99	56	交易(+)
その他の	△ 20	△ 9	11	
合 計	202	336	134	
成長3領域*	179	246	67	



\* モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

## 5) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘要	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減
固定資産処分・売却	3	△ 5	△ 8
減損損失	△ 12	△ 1	11
関連事業損失	△ 9	0	9
その他の	△ 29	3	32
非経常項目 合計	△ 47	△ 3	45

## 6) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘要	20年3月末	20年12月末	増減	摘要	20年3月末	20年12月末	増減
流動資産	( 7,818 )	( 7,650 )	( △ 168 )	負債	( 9,208 )	( 8,938 )	( △ 270 )
現金及び 現金同等物	1,646	2,044	398	営業債務	1,210	1,164	△ 46
営業債権	2,739	2,561	△ 178	有利子負債	5,994	5,903	△ 91
棚卸資産	2,843	2,565	△ 278	その他の	2,004	1,871	△ 133
その他の	590	480	△ 110	資本	( 6,097 )	( 6,352 )	( 255 )
非流動資産	( 7,487 )	( 7,640 )	( 153 )	親会社の所有者に 帰属する持分	5,292	5,647	355
有形固定資産及び 使用権資産	4,997	5,038	41	非支配持分	805	705	△ 100
のれん及び 無形資産	262	258	△ 4				
非流動の その他の資産	2,228	2,344	116				
合計	15,305	15,290	△ 15	合計	15,305	15,290	△ 15

## 7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘要	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,054	1,405	351
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 784	△ 650	134
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	270	755	485
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59	△ 341	△ 282
IV. その他	△ 8	△ 16	△ 8
現預金等増減	203	398	195

## 2. 2020年度業績予想の概要

# 1) 下期の前回予想時からの事業動向変化

セグメント		前回予想 下期 ⇒ 下期	概要
モビリティ	PPコンパウンド エラストマー、 機能性コンパウンド	↑	グローバル全拠点で自動車生産回復基調。 中国、北米販売好調。欧州新拠点の稼働順調。
	機能性ポリマー	→	引き続き、スマホレンズ等ICT関連需要が堅調に推移。
	ソリューション事業	→	下期より顧客活動再開してきているものの前回予想時から大きな変化なし。
ヘルスケア	ビジョンケア	↑	上期販売減の反動により、想定以上の回復。
	不織布	→	大きな環境変化は見込まない。
	歯科材	→	上期から回復も、前回予想から大きな環境変化は見込まない。
F&P	包装用フィルム	→	大きな環境変化は見込まない。
	産業用フィルム	↑	半導体需要堅調により増販。
	農薬	→	大きな環境変化は見込まない。(4Q国内需要期)
基盤素材	石化	↑	クラッカー高稼働維持。P O堅調。
	基礎化	↑	海外市況改善。

## 2) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想 (対前回予想)

(単位 : 億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			主要増減要因
	前回予想 (20.11.11発表)	今回予想	増減	前回予想 (20.11.11発表)	今回予想	増減	
モビリティ	3,000	3,150	150	240	280	40	<u>販売数量(+)</u> 、固定費(+)
ヘルスケア	1,400	1,450	50	160	190	30	<u>販売数量(+)</u> 、固定費(+)
フード&パッケージング	1,950	2,000	50	185	215	30	<u>販売数量(+)</u> 、固定費(+)
基盤素材	5,250	5,400	150	△ 30	140	170	販売数量(+)、在庫(+)、 <u>交易条件(+)</u> 、 <u>持分法(+)</u>
その他	150	150	0	△ 55	△ 55	0	
合計	11,750	12,150	400	500	770	270	
成長3領域*	6,350	6,600	250	585	685	100	

\* モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

### 3) 業績予想の概要 (対前回予想)

摘要	前回予想 (20.11.11発表)	今回予想	増減	(単位：億円) 増減率
	年度	年度		
売上収益	11,750	12,150	400	3%
コア営業利益	500	770	270	54%
非経常項目	20	△45	△65	-
営業利益	520	725	205	39%
金融収益・費用	△50	△65	△15	30%
税引前利益	470	660	190	40%
親会社の所有者に帰属する当期利益	330	480	150	45%
為替レート(円/US\$)	106	106	△3	
国産ナフサ(円/KL)	29,800	31,400	+ 1,600	

配当	期末	期末
	50円/株	50円/株
	通期 100円/株	通期 100円/株

## 4) 業績予想の概要 (対前年決算)

\*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。  
(単位：億円)

摘要	19年度決算 *1 (IFRS) (a)		20年度予想 (IFRS) (b)		増減 (b)-(a)	
	4-12月	年度	4-12月	年度	年度	%
売上収益	10,053	13,495	8,574	12,150	△ 1,345	△10%
コア営業利益	599	723	522	770	47	7%
非経常項目	△ 47	△ 77	△ 3	△ 45	32	△42%
営業利益	552	646	519	725	79	12%
金融収益・費用	△ 13	△ 38	△ 52	△ 65	△ 27	71%
税引前利益	539	608	467	660	52	9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	310	340	330	480	140	41%
為替レート(円/US\$)	109	109	106	106	△ 3	
国産ナフサ(円/KL)	42,800	42,900	28,800	31,400	△ 11,500	

配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減
	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株	+0円/株
通期 100 円/株			通期 100 円/株			通期 +0円/株

## 5) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想 (対前年決算)

\*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。

(単位：億円)

セグメント	売上収益 (IFRS)					コア営業利益 (IFRS)				
	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (b) - (a)	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (d) - (c)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		4-12月	年度 (c)	4-12月	年度 (d)	
モビリティ	2,776	3,679	2,208	3,150	△ 529	330	431	195	280	△ 151
ヘルスケア	1,069	1,432	1,057	1,450	18	95	132	148	190	58
フード&パッケージング	1,449	2,013	1,393	2,000	△ 13	116	170	152	215	45
基盤素材	4,628	6,195	3,818	5,400	△ 795	112	94	53	140	46
その他の	131	176	98	150	△ 26	△ 54	△ 104	△ 26	△ 55	49
合計	10,053	13,495	8,574	12,150	△ 1,345	599	723	522	770	47
成長3領域 *2	5,294	7,124	4,658	6,600	△ 524	541	733	495	685	△ 48

\*2 モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

## 6) 2020年度第4四半期以降のトピックス

### <トピックス(予定)>

#### ◆モビリティ

- ・中国におけるガラス長纖維強化ポリプロピレン生産設備新設  
(20年度第4四半期営業運転開始、3,500トン/年)
- ・EUVペリクル生産設備新設 (20年度第4四半期完工、21年度第2四半期営業運転開始)
- ・高機能エラストマー「タフマー®」生産能力増強 (21年度第1四半期完工予定、+2.5万トン/年)



**Mitsui Chemicals**

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、  
社会課題を解決する